



Weekly Report

2014～2015 年度会長方針「**伝統と変革、より良いクラブを築こう**」

創立/1986年2月19日 (会長)渡邊 裕之 (副会長)村山 圭治 (幹事)榎田 隆治
例会会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1351 回例会

2014 年 9 月 24 日

本日のプログラム

例 会 12:30 ~ 13:30
クラブ協議会

♪ 今月のソングリーダー 月井 雅夫会員 ♪

前回の例会報告 2014 年 9 月 17 日

会 長 報 告

- ①地区資金推進委員長 田村純治氏より2013-14年度2580地区年次寄付総額が402,746.04ドル(一人平均135.93ドル)日本34地区当地区が3位でした。皆様のご協力に御礼申し上げます。とご報告がございました。
- ②東京ロータリークラブより創立100周年記念事業の取組みとして推進しております「東北すくすくプロジェクト」のご案内が届いておりますので、詳しくは委員会報告で社会奉仕委員長よりご説明をさせていただきます。
- ③沖縄西ロータリークラブより珊瑚植え付けプロジェクトのご案内がきております。珊瑚植え付けプロジェクト開催参加申込み内容並びに企業協賛のお願いについては、各テーブルにチラシを回覧しておりますので、ご興味のある方は事務局までお申し出ください。
- ④本日も広島豪雨災害義援金の募金にご協力をお願い致します。
義援金は3日にお預かりした分と本日の金額を併せてお送り致します。
- ⑤IMアンケートのご提出を宜しくお願い致します。
- ⑥RIより新会員をご推薦された会員に認証バッジ届いておりますので4名の方にお渡しいたします。
- ⑦昨日、皆様へFAX致しております、10月15日

次回のプログラム

理 事 会 11:15 ~ 12:00
例 会 12:30 ~ 13:30
クラブフォーラム
ロータリーの友紹介

(水) 鈴木名誉会員「101歳のお祝い会」につきましてご案内させていただきます。当日は専用バスにて当ホテルを出発、佐倉市内「ウィシュトンホテル・ユウカリ」に於いて昼食、贈呈式並びにお祝いの会を行いますので、会員、奥様に是非ともご参加をいただき、皆様と御祝をしたいと存じます。

■ビジター

池袋RC 榎本 稔様
板橋セントラルRC 船橋 昌子様

例会臨時変更のお知らせ

東京池袋西ロータリークラブ
10月6日(月) 通常例会
→ 10月5日(日) 移動例会
10月20日(月) 移動例会(親睦旅行)
→ 通常例会
(例会場変更: ホテルメトロポリタン)



新会員を推薦されました方々へ認証バッジを授与

社会奉仕委員会報告

9月18日（木）錦華学院にテーブルベンチセットを設置。
10月12日（日）錦華学院の「お楽しみ会」に於いて贈呈式を行います。



INITIATION SPEECH



細田会員



林会員



高橋会員

ニコニコ BOX

渡辺会員／先日の群馬富岡、下仁田への移動例会、吉田親睦委員長、月井さん、佐藤先生、櫛田幹事、誠にありがとうございました。本当に楽しい移動例会でした。

西島会員／秋らしくなって来たと思っていましたら今日は湿度が高く蒸し暑いです。皆様健康に気を付けて！

■出席報告

会員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	9月3日分 修正出席率
33名	28名	25名	3名	89.29%	86.21%

2014年9月 RI会長からのメッセージ

ロータリーの将来を担う新世代

親愛なるロータリアンの皆さん、国際ロータリー（RI）の会長であることの素晴らしい恩恵の一つは、ロータリー世界のさまざまな地域を訪れる機会に恵まれることです。普段、私はイベントに出席するために旅行をし、クラブや地区大会や研究会でスピーチをし、そしてロータリアンに奉仕を奨励します。しかし会長として、私はあらゆる分野のロータリー家族に責任を負っています。このことは、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の参加者など、ロータリーの若い世代を支援する恩恵にも浴しているということです。

新世代の発想に感動

ロータリアンの活動を見る時、私はいつも感動し、興奮し、そして刺激を受けます。新世代の人たちの活動を見ても、まっ

たく同じように感じ、そして同じように驚かされることもあります。私が彼らの活動に期待するようになったのは、彼らの活動の質によるのではなく、彼らの考え方に独創性があり、工夫をこらしたものだからです。私は彼らが行ったことを見て、「なんて素晴らしい活動だ」と単に思うのではなく、「なんて素晴らしい発想なんだ」と感動するのです。

世界に対する見方は世代によって異なります。そして一人ひとりが、独自の視点を持っています。一つの問題に直面した時、私たちは異なった解決策にたどり着きます。これは、私たちの強みである、文化、言語、経験、性別、年齢といった、多様性がロータリーにあるからです。

新世代を応援することは自分たちを応援すること

ロータリーでは、奉仕をするにあたって、長期的展望に立ったものであるよう努めています。私たちは、自分たちの奉仕が役に立ち続け、私たちの手から離れた後も、影響を持ち続けるようなものにした

いと強く願っています。私の経験から言うと、新世代はこのような考えを分かち合い、新しく革新的な方法で環境問題に焦点を当てることによって地球規模に適用していきます。私がロータリアンになった時、環境問題が私たちの話題に上ることなどほとんどありませんでした。今の若い人たちにとって、これらの問題は目の前にあり、中心にあるものなのです。ロータリーの奉仕の世界にとって、彼らの先見性はかけがえのないものであり、私たちが促進し、支援すべきものの一つです。彼らが私たちから学ぶように、私たちが彼らから学んでいくべきでしょう。

ローターアクターやインターアクターで活動している若い人たち、青少年交換学生や、RYLAの参加者は、明日のロータリアンです。彼らを応援するということは、私たちの組織全体の未来を応援しているということにもなります。私たちは、明日のクラブ会長、ガバナー、RI理事、そしてRI会長になる人々を養成する手助けをしているのです。